

あぁ これを見てごらん

そうなの!!

反社とは 「イコール暴力団」ではないんだ

その説明の前に… 宇田川さんは 「反社会的勢力」ってどんな対象を指すか分かる?

え? そりゃ暴力団の構成員でしよ だいたい見たら分かるような…

う〜ん そこからして甘い…

一般人

**反社会的勢力**

〈属性要件〉暴力団準構成員・元構成員・総会屋・フロント企業・政治/社会活動標榜ゴロ・特殊知能暴力集団・企業ゴロ・事件屋 など

〈行為要件〉暴力的な要求行為、法的な責任を超えた不当要求、詐欺、業務妨害、信用等の毀損行為 など

**暴力団構成員**

共生者・密接関係者・密接交際者・反市場勢力・半グレ集団  
→反社と人的・経済的に深い関係にあるもの

今や暴力団は不透明化が進んでいて 一見一般人と見分けがつかなくても 準構成員や共生者と呼ばれるような 人的・資本的に暴力団と深い関係にある者もいる

そうした者をすべて 「反社会的勢力」として 取り扱うべきなんだ そしてそうした人物は 見た目や表面的な要件だけでは 判断できないことが多い

それだけに 自行庫や業界で 反社として要注意登録された 顧客ではないか照会できる データベースの活用は必須だ 政府指針でも 各金融機関の データベースの一層の充実が 呼びかけられているからね

ただし データベース上にあるのは はっきり 反社だと判断される 者の情報がほとんどだ 警察のデータベースも含め 反社かどうか疑われる者については 登録が難しい

つまり データベースだけでは 反社との取引排除は 達成できない というわけ!

そういうことなのね…

今日は 反社との取引排除について 誤解しがちな点や 認識しておいてほしい ことを伝えに来たよ!

その例を挙げるまでもなく 今や どの金融機関でも 反社対策が課題になっているが 君には 行職員として 認識が足りていないとみえる

よしよ むくり 排除の化中!

反社との取引排除は そう単純なものではないよ!

最近 金融機関の 暴力団への 不正融資が 話題になった だろう?

わ〜!!

早速だが ポイントその1!

ふよふよ

おーい?

違うの? やっぱりね…

うっ…

**「データベースがあれば 反社対策は 万全」は誤解である**